



フルカラーコミック

我が家に

ギャルママ

がやってきました!!

父の再婚で一緒に暮らすことになった女性  
ぎこちない生活の日々だったが



あ、

あらやだ  
ゴメンねヒロちゃん

それはともかく  
「マコさん」じゃなく  
そろそろママって呼んでほしいな



たい・・・

バカ



なんか見るからにすごいギャルなんだけど

の名称はマコさん  
さんの再婚相手  
で  
僕の母になっちゃった人



まあっ！

ヒロちゃん  
おかえりー

私がママよ～



二九歳でまだ若いし  
美人だけでも見での通り  
かなりギャルギャルしてて

自分で言うのもなんだけど  
あきらかに湧えない見た目の  
歳のいった父さんと  
なんで結婚したんだろ・・・

本当の親子ではない母と子の関係が  
変わった方向に進んでいく



ハ～イ、

ちよっといくらなんでも  
つつきすぎです

何かしら？

ちよちよ、  
マコさん



美人でノリの軽い巨乳ギャルママが  
性的過ぎて我慢出来ないっ！



ある日母にオナニーをしている所を  
見られてしまい、  
幻滅されると思いきや意外な展開に



かっころうだよな



なかなか自分に打ち解けてくれない息子に

ふわああ

母のとった行動とは。。。。

よいしょ



まじめな息子とギャルママのおかしな性活





フルカラーコミック24ページ

おまけにイラスト8点

差分込みで23点



ただい・・・

バク



ヒロちゃん  
おかえりー

まあっ！

ガッ



ちよっといくらなんでも  
くっつきすぎです

何かしら？



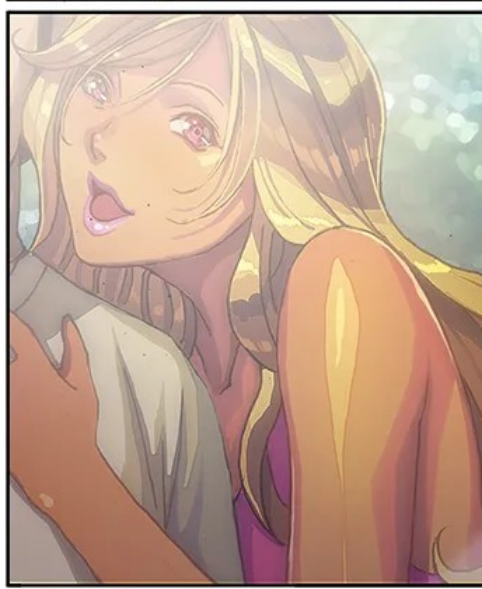
ちよちよ、  
マコさん



あ、

それはともかく  
「マコさん」じゃなく  
そろそろママって呼んでほしいな

あらやだ  
ゴメンねヒロちゃん



この人の名前はマコさん  
実は父さんの再婚相手で  
まあ、僕の母になっちゃった人

ムネ



自分で言うのもなんだけど  
あきらかに冴えない見た目の  
歳のいった父さんと  
なんで結婚したんだろ・・・

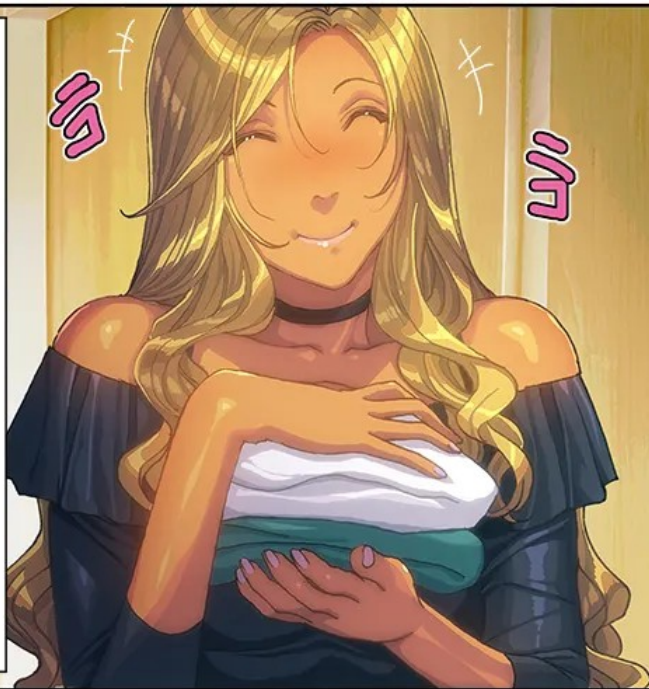
二九歳でまだ若いし  
美人だけでも見ての通り  
かなりギャルギャルしてて

そうそう、  
今日の晩御飯はヒロちゃんの  
好きなハンバーグよ



でも見た目に反して（失礼）  
料理は上手で美味しいし、  
洗濯掃除もしっかりこなしてる

明日の授業で使う  
体操服も  
洗っておいたわよ〜ん



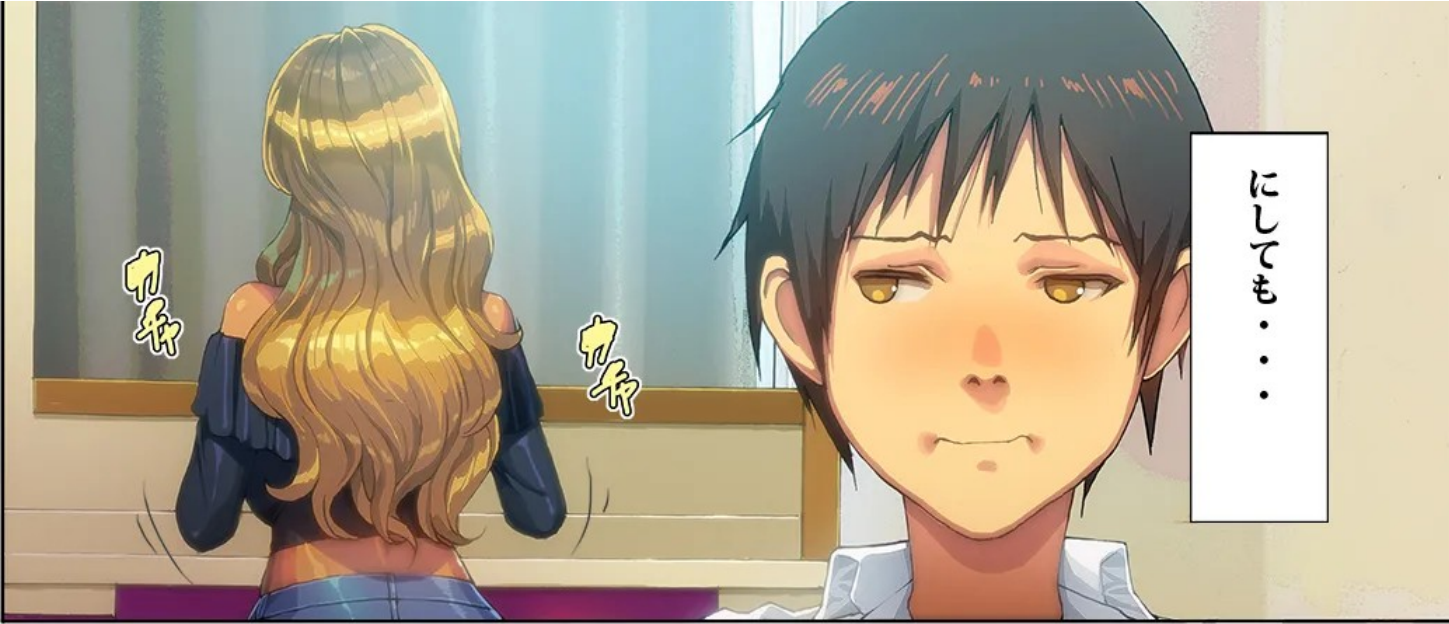
結婚して一応家族ではあるものの、  
本当の息子でもない僕の  
身の周りの世話もしてくれて  
とても良い人だ

どうやら父さんの財産目当てとか  
そういうやましい結婚ではなく  
安心なんだけど……  
（ドラマの観過ぎか）



一か月ほど出張だから  
よろしく〜

肝心の父さんは仕事柄  
しょっちゅう出張で家にいなくて  
ほとんどマコさんと同棲のような  
生活を送っている



にしても・・・



毎日毎日  
きわどいかっこうなんだよな

一応多感な青少年の前なんだから  
少しは考えていただきたい

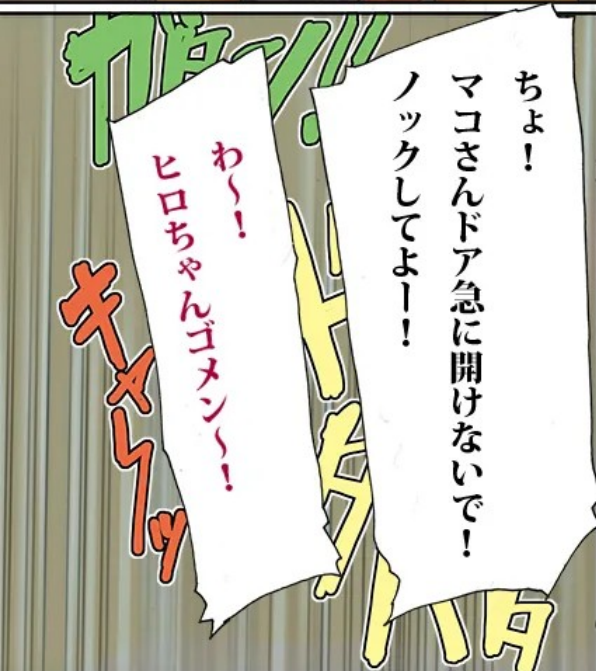


うう、  
もうイケ

結局その晩  
ムラムラな気分になってしまい



その日の夜



わ〜！  
ヒロちゃんゴメン〜！  
キマッ

ちよ！  
マコさんドア急に開けないで！  
ノックしてよー！



ビクッ  
びやるる



ヒロちゃん  
お風呂沸いたわよー



凄く気まずい  
まさか女の人にオナニー見られるとは……

うい、  
明日からの顔向けて  
会えばいいんだ……



死にたいぐらい  
恥ずかしい  
絶対軽蔑されたな

うわ、あんなところマコさんに  
見られてしまった……

次の日の朝

おはようございます

あらヒロちゃんおはよー

もうすぐ朝ごはん  
出来るからね



マコさんは  
いつも通り接してくれている

それじゃ行ってきます

いってらっしゃーい

まあ、大人の女性だし  
いちいち子供のそんなことに  
気にしているわけないか  
それでも凄く恥ずかしかった  
ことには変わりはないけど

そして学校も終わり家で  
くつろいでいると・・・

ねえヒロちゃん

はい？

私とHしない？

えええーっ！

オオオオ



ちよつ、ちよ、  
マコさん僕をからかっているんですか！

おお、親子でそんなこと  
できるわけないじゃないですかっ！

いや、母として  
そういうこともいろいろ  
かわいい息子のために  
手取り足取りと

そんなこと面倒見る親なんて  
聞いたことないです！

というか昨日のヒロちゃんの見て  
私もなんとというか気持ちが悪々としちゃって

ほら、ダーリン出張ばかりで  
夜の性生活が無沙汰だからさ

うわおおー！  
何脱いでんですか！

カハハハ



んふ

んぐ

キス



ええ!

つちゅ〜ことで  
パパもないししょっか



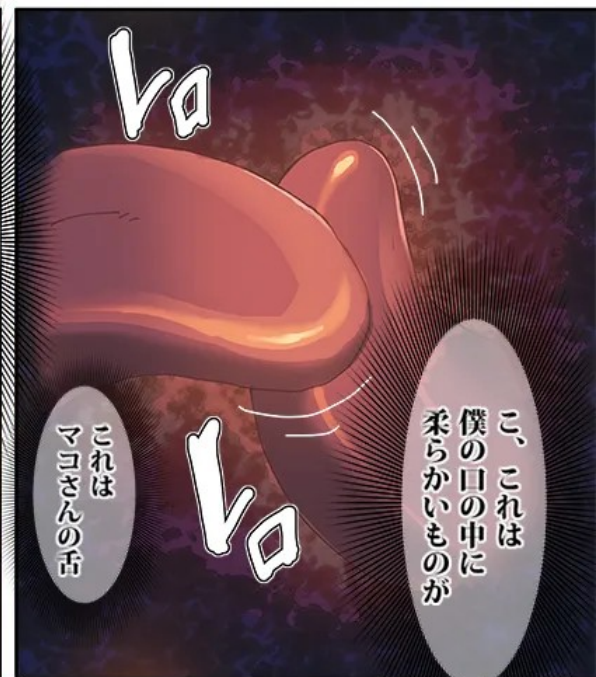
キスってこんなに  
気持ちいいんだ

初めてのキスで  
いきなりディープ

なんか少し甘くって  
生暖かくてとろけそう

キス

ペキ



カ

カ

こ、これは  
僕の口の中に  
柔らかいものが

これは  
マヨさんの舌



ウフ、  
凄く硬くなってるぞ♡

ほれ脱げ♡

びり

キス

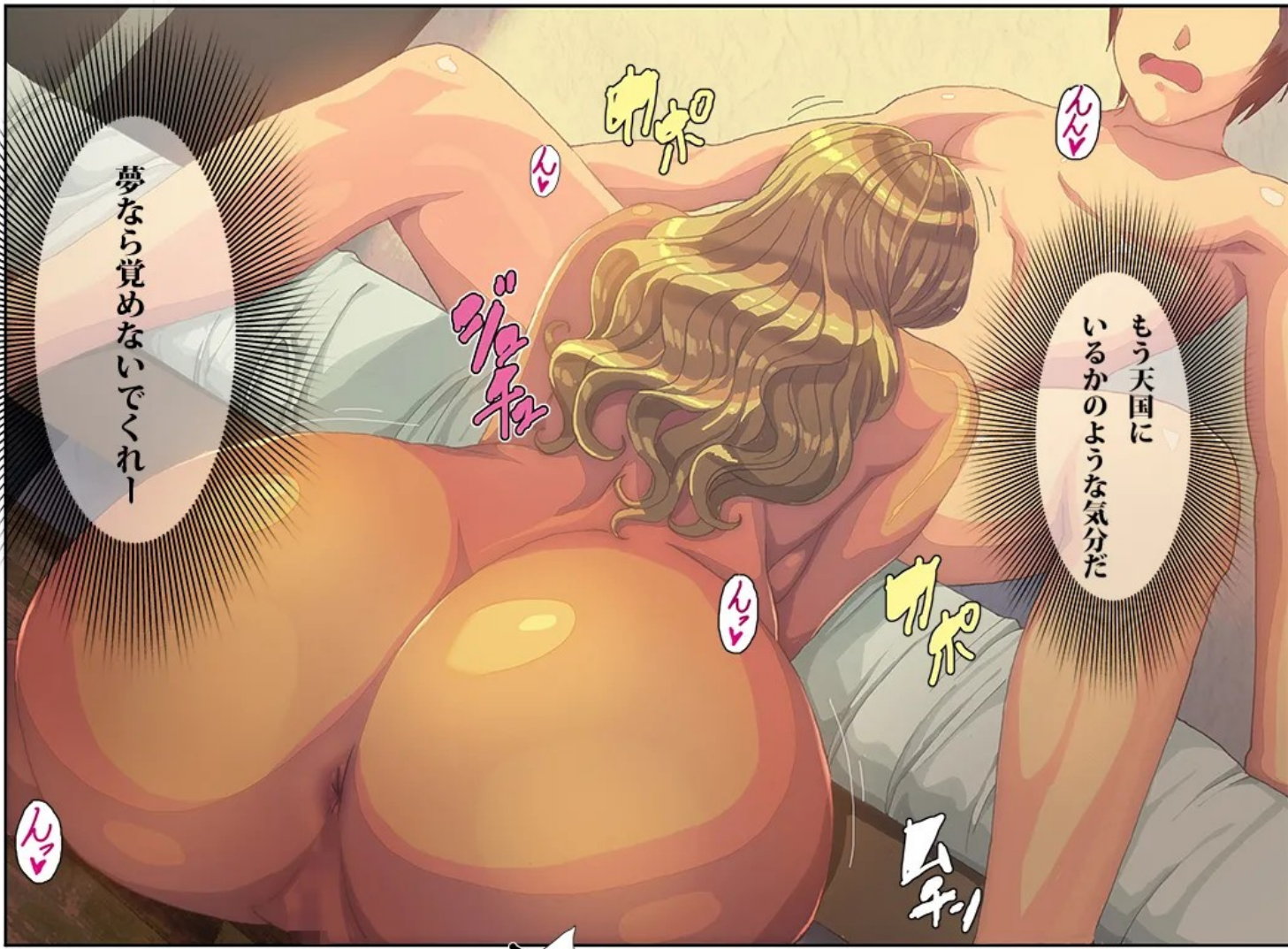
うわ〜  
首筋が〜



ア...

わあ





夢なら覚めないでくれー

もう天国に  
いるかの  
ような気分だ

ん

ん

ん

ん

ん



ん

ん

ん



マコさんそれ以上は！  
もう僕イキそうっ！

ん

ん



んふ、  
いっぱい出ちゃったね

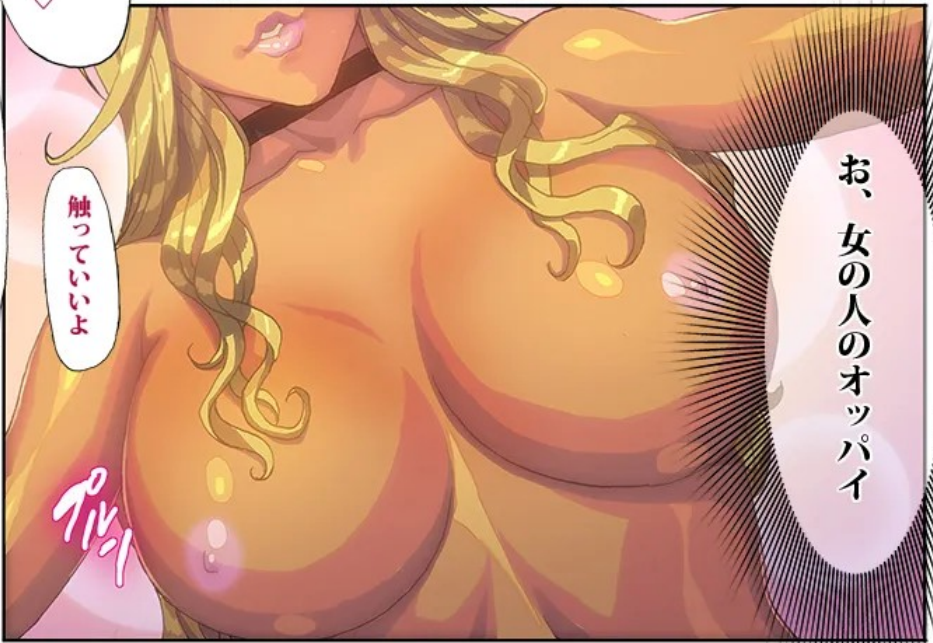
ごめんさご

おん

なんで謝るのよ

今度は  
ヒロちゃんがして♡

え？



お、女の人のオツパイ

触っていいよ

そ、それでは

んふ

あん♡



僕今母親の  
オツパイ吸ってる・・・

んふ

おん

うふ、

まるで赤ちゃんね

ねえ、  
オッパイだけじゃなく  
こっちもな・め・て♡

おおおおお!  
女の人のアソコ初めて見た

びよ

ドクッ  
ドクッ

淡いピンク色で  
なんかピロピロしてる  
そしてパイパン

い、いただきます

これがマコさんの  
匂いと味

ああん、  
ヒロちゃん初めてにしては  
上手ね

んんん  
んんん  
んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



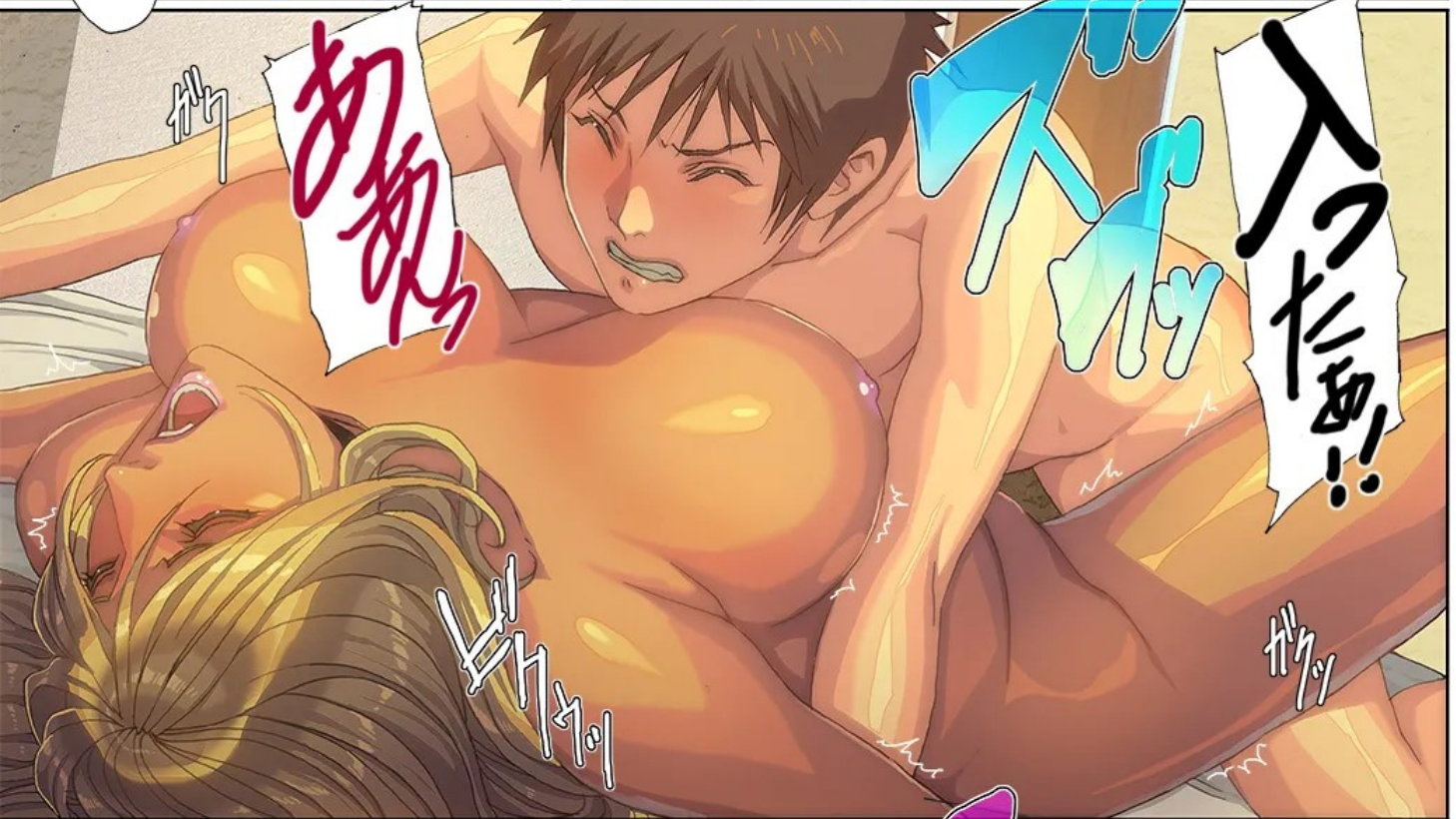
そろそろ  
ヒロちゃんの欲しいな

あ、はい

この穴でいいんだよな？

カカカカ...

ちよつと  
キツイかな？



入ったぞ!!

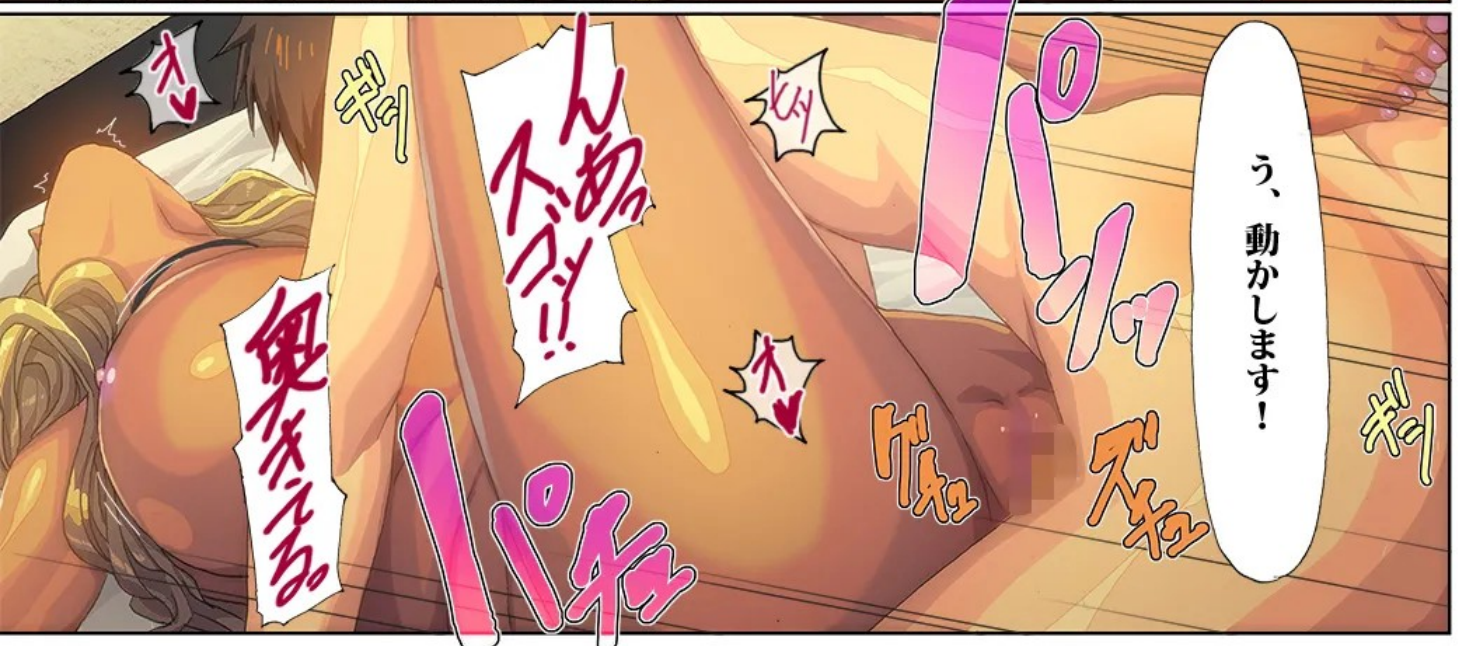
ズンズン

おおお

カカ

カカカカ

カカ



う、動かします！

ピロピロ

んおの  
ズンズン!!

奥まで

パキ

カカ

カカ

カカ

カカ

カカ



動きが難しい

遠慮せずにもっとお!

今度は私が上でしてあげる

あ、

あ♡

お♡

あ♡

下♡

が♡

あ♡

ん♡



そのまま  
ジツとしてね

ヒロちゃんの  
大きいから

よいしょ

ふわああ

ググ



動くよ

おっおっ!!  
中々!!

ん♡

ん♡



根元まで入った♡

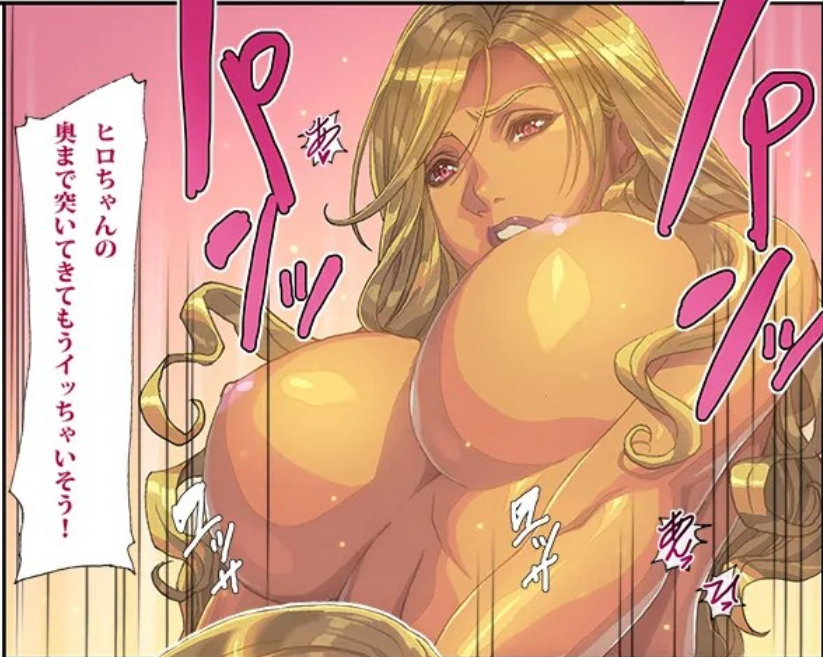
締め付けスゴ!

ズググ

ん♡



僕も  
もうイキそうです！



ヒロちゃんの  
奥まで突いてきてもうイッちゃいそう！



カッカッカッ!!

あああ  
イッ  
イッ  
イッ

カッ  
カッ  
カッ

カッ  
カッ  
カッ

ギッ



あわわわわ

あ、  
気持ちよかった

クゥ〜



ん？



凄く良かったけど  
凄くいけないことを  
してしまったような

ど、どうしよう  
母親とセックスしてしまった

ボケ〜



ヒロちゃんの  
まだ硬いんですけど〜

イッたばかりなのに  
元気ねえ

わーっ！

キゅ〜

ニギ

ニギ

アセ

アセ

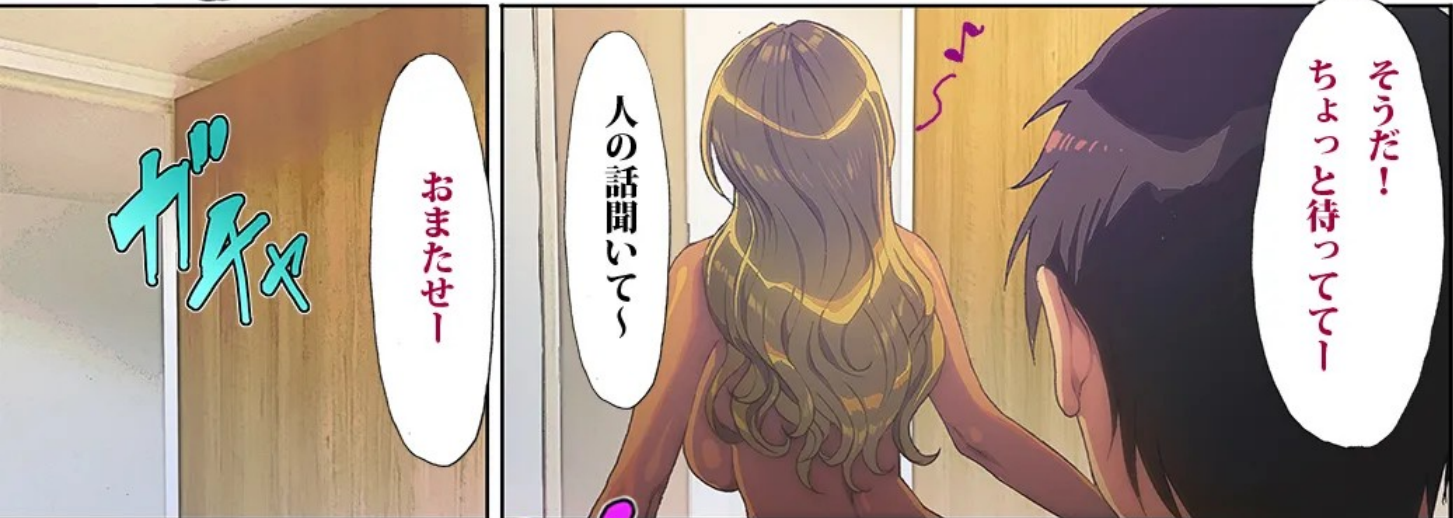


せっかくだからまだしましょ！  
息子のためにママがんばっちゃう！

い、いや、  
親子なのにマズイのでは

でもオチンチン  
立ってるわよ？

なんでそんなに  
ノリが軽いんですか？  
悩んでる自分が  
バカみたいに思えてきた

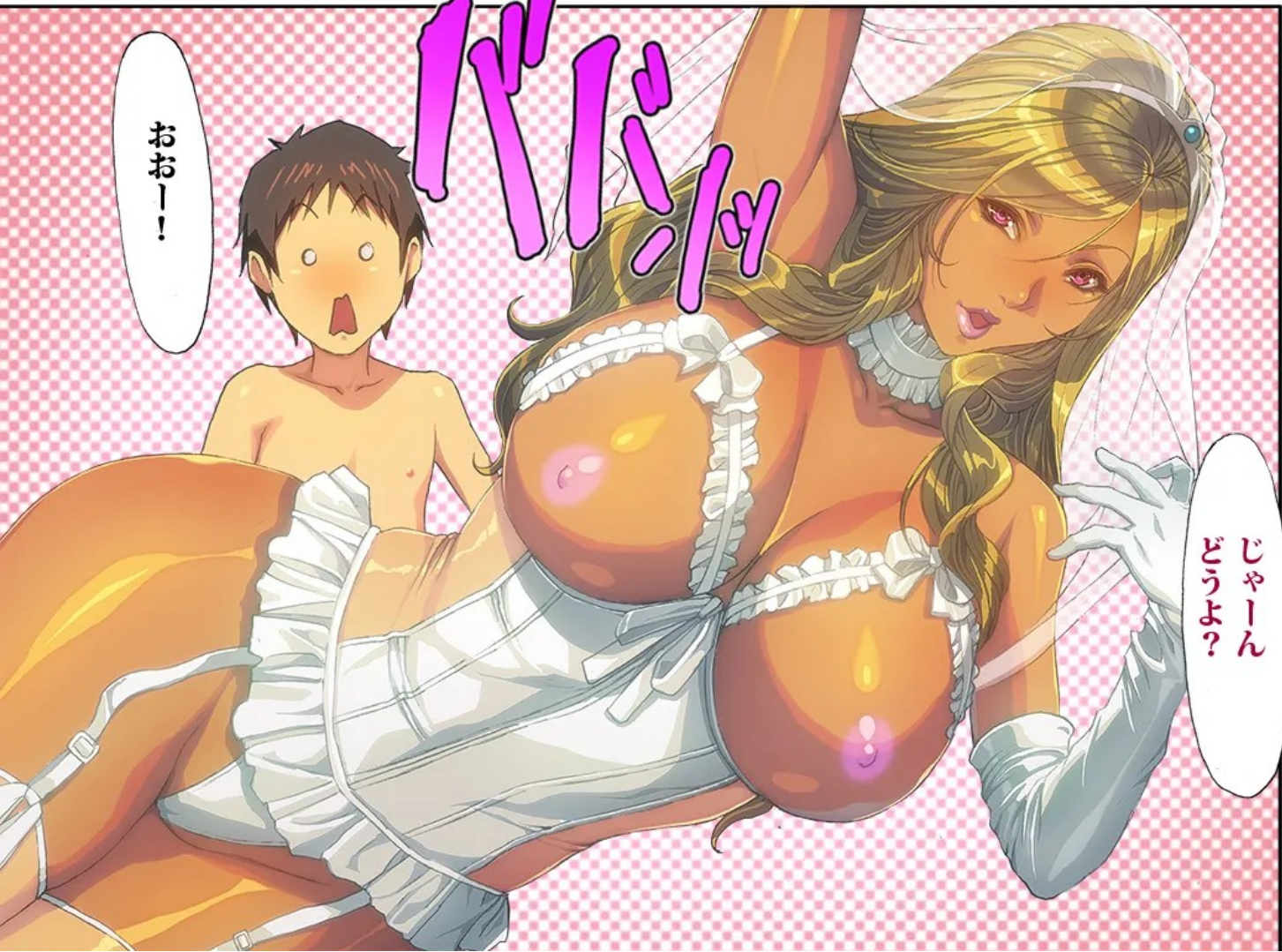


そうだ！  
ちよつと待っててー

人の話聞いてー

おまたせー

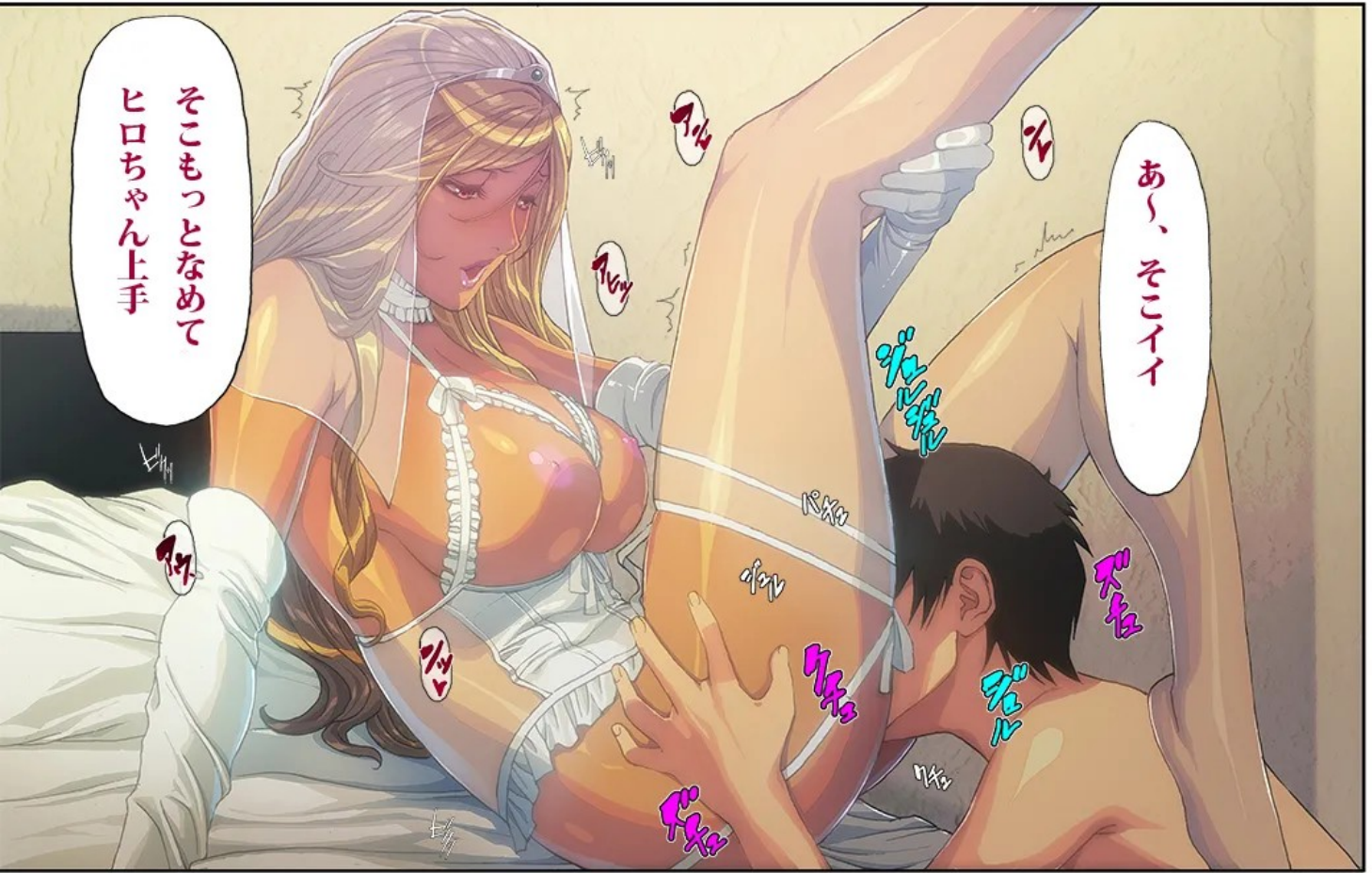
ガク



じゃーん  
どうよ？

おおー！





そこもっとなめて  
ヒロちゃん上手

あ、そこイイ



マコさんの胸で  
僕のペニスがサンドイッチ!

いや、見た目的に  
ホットドッグか



おかえしに  
パイズリだ〜

おおお〜



あゝ、  
なんて幸せなんだ〜



どお？  
気持ちいいでしょ？



今度はバックから  
激しく突いて欲しいな♡









結局何ラウンド続けたか  
覚えてないほど母と  
してしまった・・・

凄く大胆な行動ではあったけど  
マコさんの嬉しいような  
ホッとしたような表情が  
とても印象的だった



でもマコさんなりに  
僕のことを気遣っての  
ことなのかもしれない

私のこと  
お母さんって呼んでくれて  
ありがとう

どうやらまだ  
お互いの距離は長そうだ (汗)



おかげでいままでよりも  
マコさんと自然に接することが  
出来るようになった

END







































